



アシストフォーラム 2022

企業の情報活用をアシストする

二人の日本代表コーチ／監督が語る「人の育成論」

特別講演 ①

指定日配信

7/4 12:00～13:30

7/7 15:00～16:30

7/12 10:00～11:30

7/15 15:00～16:30

『人を育てる』

——あなたが変わるまで、わたしはあきらめない

一般社団法人 井村アーティスティックスイミング 代表理事
アーティスティックスイミング 元日本代表ヘッドコーチ

井村 雅代 氏



東京2020オリンピックは、これまで10回のオリンピックに関わってきた中で最も印象に残る大会となりました。東京2020オリンピックが一年延期になった後、一番苦労したのはコロナ禍の中で選手が毎日水に触れられるよう練習場を確保することでした。選手には不確かな情報の入手を遮断させ、とにかく話を聞いてあげることで不安を取り除きました。オリンピックコーチとして、いかに選手に最後まで寄り添ったか、最後の演技の前に選手にかけてあげた言葉は何だったのか？ 20～30代の若手選手の育成で常に心がけていることと合わせてお話しします。

《プロフィール》

大阪府出身。天理大学体育学部卒業。元大阪市中学教諭。10年間のシンクロナイズドスイミングの選手を経て、1974年よりコーチをはじめ、1978年から日本代表コーチも務め、1985年には井村シンクロクラブを設立。シンクロナイズドスイミングがオリンピック種目になってから、9大会連続メダル獲得を成し遂げ、立花美哉氏や武田美保氏をはじめ、多くのオリンピック選手を育てている。北京五輪では中国代表コーチを務め、中国シンクロ初のメダル獲得に導き、ロンドン五輪では中国初となるデュエットでのメダル獲得も導いた。アメリカ、カナダ、韓国、スペイン等の国に講師として招かれ、2013年5月から7月の世界選手権まで、イギリスでコーチとしてわずか2か月の指導で好成績を収めた。2014年4月からは日本代表コーチに復帰し、2016年のリオ五輪ではデュエットが2大会ぶり、チームでは3大会ぶりのメダルをもたらした。2019年の世界選手権では乾友紀子氏がノ3位という成績を取り、2007年大会からFR(フリー)が独立して採用されて以降、日本勢初となるメダルを獲得した。東京五輪でもヘッドコーチを務め、デュエット、チームともに4位入賞を果たした。

特別講演 ②

オンデマンド配信

「岡田メソッド」の狙いと体系化プロセス ～ビジネスの視点から～

株式会社今治、夢スポーツ 代表取締役会長
(サッカー日本代表元監督)

岡田 武史 氏



日本人が世界で勝つためのプレーモデルとして作った「岡田メソッド」。主体的にプレーできる自立した選手と自律したチームを育てることを目的としたサッカー指導の方法論です。これを体得してもらうことで、頭は完全にフリーな状態で、直感的に生き生きとしたプレーができるようになると思います。

サッカーの日本代表監督を二度務めワールドカップへ導いた後、今は「FC 今治」をオーナーとして経営する岡田氏に、「岡田メソッド」をどう体系化していったのか、組織における人の育成やビジネス視点から見た「型」の浸透などについて、アシストの大塚がインタビューします。

《プロフィール》

1956年、大阪府生まれ。早稲田大学政治経済学部を卒業後、古河電気工業に入社しサッカー日本代表に選出。引退後は、クラブサッカーチームコーチを務め、1997年に日本代表監督となり史上初のW杯本選出場を実現。その後、Jリーグでのチーム監督を経て、2007年から再び日本代表監督を務め、2010年のW杯南アフリカ大会ではチームをベスト16に導く。中国サッカー・スーパーリーグ、杭州绿城の監督を経て、2014年11月四国リーグFC今治のオーナーに就任。AFC(アジアサッカー連盟)最優秀監督、Jリーグ最優秀監督、日本サッカー殿堂入りなど受賞歴多数。

インタビュー

株式会社アシスト 代表取締役社長 大塚辰男



ASHISUTO FORUM 2022

アシスト
フォーラム

超サポ
愉快カンパニー

アシスト

毎年恒例のアシストフォーラム。

今年はオンライン形式で24社のIT活用事例セッションをお届けします。

特別講演

二人の日本代表コーチ／「人の育成論」



一般社団法人
井村アーティスティックスイミング 代表理事
アーティスティックスイミング
元日本代表ヘッドコーチ

井村 雅代 氏



株式会社 今治、夢スポーツ代表取締役会長
(サッカー日本代表元監督)

岡田 武史 氏

オンライン開催

参加費無料(事前登録制)

■ オンデマンド配信 7月4日(月) 10:00～7月15日(金) 17:00

■ 主催 株式会社アシスト

■ 協賛
(50音順)

ダイヤモンド・スポンサー：クリックテック・ジャパン株式会社、シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社、株式会社セゾン情報システムズ、日本オラル株式会社

プラチナ・スポンサー：インフォサイエンス株式会社、エクスジェン・ネットワークス株式会社、Ericom Software Ltd.、TIBCO Software Inc.、株式会社日立製作所、株式会社日立ソリューションズ、マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社

ゴールド・スポンサー：株式会社アイオン、株式会社インサイトテクノロジー、NTTテクノクロス株式会社、エンタープライズ DB 株式会社、キャノン IT ソリューションズ株式会社、Zabbix JAPAN LLC、ジーティーワン株式会社、株式会社ジェニファーソフト、Progress Software Corporation

シルバー・スポンサー：テックタッチ株式会社



詳細・お申し込みはこちら

お申し込みは Web サイトから ▶

<https://www.ashisuto.co.jp/event/af/>

お申し込みは Web サイトから ▶

<https://www.ashisuto.co.jp/event/af/>

2022年7月4日(月)10:00～7月15日(金)17:00

オンライン開催

お申し込みは Web から！

アシストフォーラム2022

オンデマンド配信プログラム

アシストフォーラム



オンデマンド配信期間：2022年7月4日(月) 10:00～7月15日(金) 17:00
<https://www.ashisuto.co.jp/event/af/>



システム運用管理／コスト最適化	セキュリティ対策	データ活用／DX	データベース基盤／クラウド活用		ナレッジ基盤／動画活用		
コレも、アレものアイカ工業は、SAPもWebシステムもJP1 アイカ工業株式会社 コレもアレも……身近なところで活躍するアイカはお客様の多種多様なニーズにお答える素材メーカーです。そんなアイカを支える基幹システム更改時に、JP1を導入。今後の「総JP1化計画」をご紹介します。 関連製品:JP1	前科者だけじゃ不安すぎる。AIで不審者を見つけだせ! 因幡電機産業株式会社 セキュリティ対策は難解で煩雑。対策の正解は?という悩みの中で出会ったBlackBerry。前科者(既知)から初犯(新種/亜種)まで対策できる魅力、使用感、今後の取り組みをご紹介します。 関連製品:BlackBerry	Salesforce活用に向けた社内データの集約・連携の取り組み アットホーム株式会社 営業現場で導入するSalesforceの活用には、社内各所に散在する情報の集約が必要でした。複雑に絡まる情報を収集し連携するため、DataSpiderの導入から設計構築に至るまでの経験をご紹介します。 関連製品:DataSpider Servista	「攻め」と「守り」のDX ～独自企業データベースのフル活用～ リスクモンスター株式会社 「あなたの会社の e-審査部」としてお客様の与信管理業務を支援するため、企業の信用評価分析やお客様のサービス利用分析を実施しています。営業・管理活動を踏まえた分析事例をご紹介します。 関連製品:Progress Corticon、DataSpider Servista	いざクラウドへ!Oracle ExadataからAutonomousへのマイグレーション 株式会社オージス総研 大阪ガスのITを長年支え続けているオージス総研。現在、Oracle Exadataを使用したデータ分析基盤をOCI Autonomousへ移行するプロジェクトを実施中。OCI移行時に障壁となる点と対策をご紹介します。 関連製品:Oracle Cloud Infrastructure	dodaの基幹DBをクラウドへ、セキュリティを担保した構成で移行 パーソルキャリア株式会社 業界最大級の会員数を誇る転職サービス「doda」。サーバ更改を機に次期基幹DBの選定をどのように進め、Oracle Exadata Cloudの採用/導入に至ったのか?プロジェクトで見えた成功に導くポイントをご紹介します。 関連製品:Oracle Exadata Cloud@Customer、Oracle Exadata Cloud Service	“動画の活用”を通してKDDIが目指す社内DXとは? KDDI株式会社 「新働き方宣言」を掲げるKDDIでは、新しい情報発信手法として動画基盤Panoptoを活用しています。このツールを通じ、何を目指してどのようなことに取り組んでいるのか?をご紹介します。 関連製品:Panopto	
JP1で基幹システムのバッチ基盤を刷新 株式会社ジェイテクト 基幹システムのバッチ基盤オープン化と、社内にあるIT機器の日常監視/運用(パトランプ、大型モニター利用)にJP1を利用した実例をご紹介します。 関連製品:JP1	サーバIDを一元管理、可視化で見た思わぬメリットと今後の展望 株式会社QTnet 手動で管理していたサーバIDの利用管理を、iDoperationの導入により約3ヵ月の短期間で自動化に成功。得られたのは業務効率化のみではなく、さらに思わぬメリットが!今後の展望についてもご紹介します。 関連製品:iDoperation	増え続ける分析レポートの作成時間をDMExpressで大幅に短縮 株式会社インターネットイニシアティブ 年々増え続けるデータと共にレポート作成業務が増加し、何度も修正されたソースは複雑になり、作業時間が増大していました。DMExpressを活用することで処理性能を大幅に短縮させた手法をご紹介します。 関連製品:Precisely Connect (旧 Syncsort DMExpress)	象印マホービンが目指す完全クラウド化への道 象印マホービン株式会社 2018年に100周年を迎え、次の100年のため完全クラウド化を掲げた象印マホービン。基幹システムをAWSに移行した取り組みをご紹介します。 関連製品:アマゾン ウェブ サービス			脱オンプレミス!BCP対策も兼ねたOracle Cloud移行の体験談 パルシステム生活協同組合連合会 老朽化した社内向けアプリ(Oracle Database 10g)の移行先としてOracle Cloudを選択。Oracle Data Guardを利用したDBのリージョン間同期とアプリケーション環境も同期させ、初のBCP対策に取り組んだ体験談をご紹介します。 関連製品:Oracle Cloud Infrastructure	Webユーザビリティランキング1位!3年間の改善ポイントを伝授 大日本印刷株式会社 分散型のWebコンテンツ運営体制においては品質の継続改善、CX向上が課題です。多人数のWeb関係者にデータドリブン思考を定着化させた「コンテンツ通信簿」をはじめ、運営の足跡をご紹介します。 関連製品:NOREN
東京ガスのリモート業務を短期で課題解決・刷新!成功の秘訣は? 東京ガス i ネット株式会社 内製で行ってきたCitrixのリモート業務のインフラが老朽化し、運用コスト削減が大きな課題であり、更新期限も迫っていました。短期間での課題解決と刷新をどのように実現したかをご紹介します。 関連製品:Citrix	2台のPCを1台に集約!病院からの安全なインターネット接続最新事例 一般社団法人衛生文化協会 城西病院 利便性向上のため検討を始めた新たなセキュリティ対策。課題は部分最適の積み上げが招いた「全体最悪」による維持コスト高騰。利便性とコスト最適を両立し、安全なインターネット閲覧を実現した方法をご紹介します。 関連製品:Ericom Shield Cloud	利用部門のデータ活用ニーズを実現する!3年間の取り組みをご紹介します タキイ種苗株式会社 利用部門による主体的なデータ活用を目指して導入したQlik Sense。利用部門とIT部門が共同で普及に取り組み、利用者数は当初の5倍に増えています。これまでの3年間の取り組み内容をご紹介します。 関連製品:Qlik Sense	ソフトバンクの成長を支える新DB基盤の選択肢とは ソフトバンク株式会社 通信事業だけでなく様々なITサービスを提供するソフトバンク。サービスを支えるインフラ部門の立場から、EDBを採用した理由や安定稼働に至るまでの取り組みの事例をご紹介します。 関連製品:EDB (PostgreSQL)			ルール作りが肝!ゼロから始めた内製化によるAWS移行 株式会社Mizkan Partners 次期ITインフラ基盤として、自社のクラウド環境を整備。ルール作りから着手し、半年間でAWS移行までを内製化にて実現。そのアジャイル的なプロセスと成果、今後の展望についてをご紹介します。 関連製品:アマゾン ウェブ サービス	東京電力が"稼ぐ力"を創出するための「IT人材育成プログラム」とは 株式会社テプコシステムズ 東京電力では、DXを推進することで生産性倍増と新ビジネスの創造を狙います。これらを実現するIT人材を確保するため定義した「人材スキルセット」および継続実施している「育成プログラム」をご紹介します。 関連製品:研修
ハイブリッドクラウド時代に求められる事業継続計画の考え方 株式会社 日立ハイテク 企業のクラウドサービス利用が進む中で、ハイブリッドクラウド環境における事業継続計画(BCP)をいかに整備するかが課題となってきます。本発表では、クラウド時代にIT部門が考えるべきBCP対策についてご紹介します。 関連製品:JP1、DataSpider Servista	ログの一元管理で情報システム管理部門の負担軽減に! 国立大学法人宮崎大学 情報システム管理部門にとって負担となりがちなログ管理業務において、統合ログ管理システムを利用して得た効果や負担軽減のポイント、様々なログの活用方法についてご紹介します。 関連製品:Logstorage	DWHシステムのパブリッククラウド移行に伴うBIツールの統合 T & D 情報システム株式会社 「新たなIT」の活用により、オンプレミスで稼働していたDWHシステムをパブリッククラウド上に移行。移行に伴う既存BIツールのWebFOCUS統合時の、課題や効果についてご紹介します。 関連製品:WebFOCUS	C/S型電子カルテのクラウド化にチャレンジ!そのポイントは? 株式会社トプコンメディカルジャパン 半年の開発期間で競合他社に先駆けクラウドサービスの商用化に成功。眼科業界で患者データを保護するセキュアなサービスをどのように実現したのか、そのポイントをご紹介します。 関連製品:Ericom Connect				

STEP1

セッションの
お申し込み

STEP2

メールで視聴サイトの
URLを受領

STEP3

6月27日(月)オープン!
視聴サイトで**視聴登録**

STEP4

7月4日(月)10:00～7月15日(金)17:00
視聴サイトにて**視聴**

STEP5

アンケート回答後、セッション資料を
ダウンロード

セッション内容は都合により予告なく変更になる場合がございますので、ご了承ください。最新のセッション情報はWebサイトをご覧ください。

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。